

公立高校入試情報 群馬県

【数学】

令和6年度群馬県入試の全体傾向

- 大問数は昨年より1問減って5問、小問数は4問減って23問。
- 大問1は各領域の基本問題、大問2は連立方程式の利用(過程も書く)、大問3は図形の証明と作図(理由も説明)、大問4はデータの分析(箱ひげ図)、大問5は1次関数と相似の問題。
- 大問3は、コンピュータを使った図形の性質についての会話文。大問4は、データを正確に読み取る力が試されている。
- 大問5は、山登りで相似比や関数を利用するもので、文章の読解力も必要。
- 大問1で配点が41点もあるので、確実に得点しておきたい。

■ 作図問題の出題

- ・作図の問題が例年出題されており、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

■ 証明問題の出題

- ・図形の証明問題がよく出題されている。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

★群馬県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●		●
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例	●		●	
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●		
	2年内容	式の計算	●	●	●	
		連立方程式	●		●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方		●	●	
		三角形	●	●	●	●
		平行四辺形	●		●	●
		確率		●	●	●
	3年内容	データの比較と箱ひげ図			●	●
		式の計算		●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式		●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●		●
		円の性質	●	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数	大問数	6	6	6	5
		小問数	27	28	27	23
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	2	1		1
		立式・解法の過程の記述	2	2	2	1
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)				